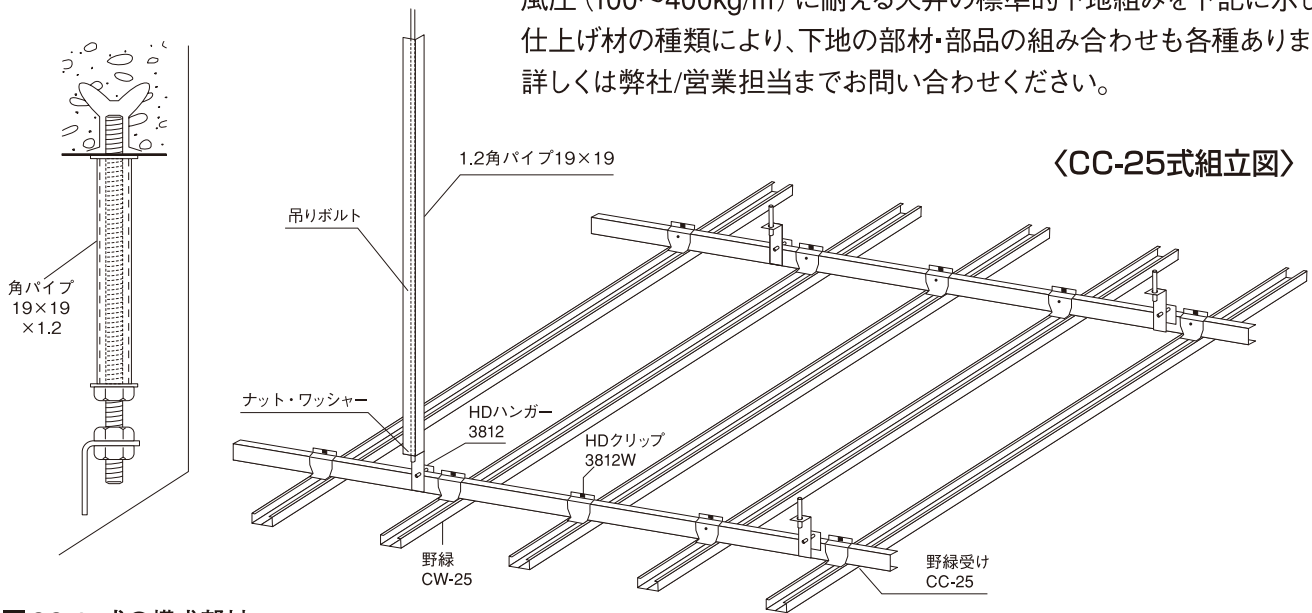


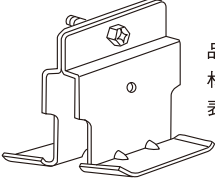
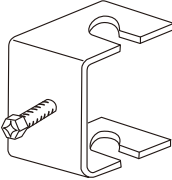
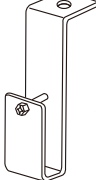
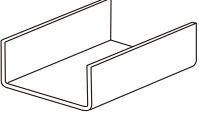

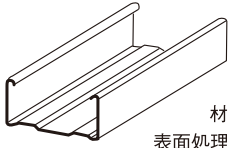
耐風圧天井下地材

風圧 (100~400kg/m²) に耐える天井の標準的下地組みを下記に示します。
仕上げ材の種類により、下地の部材・部品の組み合わせも各種あります。
詳しくは弊社/営業担当までお問い合わせください。

〈CC-25式組立図〉



■ CC-25式の構成部材

 <p>品名:HDクリップ3812W 材質:JIS G 3302 SGCC 表面処理:溶融亜鉛メッキ (Z12)</p>	 <p>品名:チャンネルホルダー 材質:JIS G 3302 SGHC 表面処理:溶融亜鉛メッキ (Z12)</p>	 <p>品名:HDハンガー 3812 (C-38×12×1.6用ビス付き) 材質:JIS G 3302 SGHC 表面処理:溶融亜鉛メッキ (Z12)</p>
 <p>品名:野縁受け (CC-25) 材質:JIS G 3302 SGCC 表面処理:溶融亜鉛メッキ (Z12)</p>	 <p>品名:Gブレース金物 材質:JIS G 3302 SGHC 表面処理:溶融亜鉛メッキ (Z12)</p>	 <p>品名:野縁 (CW-25) 材質:JIS G 3302 SGCC 表面処理:溶融亜鉛メッキ (Z12)</p>

■ CC-25式の使用例

単位:mm

参考風圧	1000Pa (100kg/m ²)	1500Pa (150kg/m ²)	2000Pa (200kg/m ²)	2500Pa (250kg/m ²)	3000Pa (300kg/m ²)	3500Pa (350kg/m ²)	4000Pa (400kg/m ²)
部材	野縁受け	CC-25	CC-25	CC-25	CC-25	CC-25	CC-25
	野縁	CW-25	CW-25	CW-25	CW-25	CW-25	CW-25
施工	インサートピッチ	900	900	900	800	700	600
	野縁受けピッチ	900	900	900	800	700	600
	野縁ピッチ	450	300	227	227	227	227
ボルト	3分ボルト	480以下	380以下	340以下	330以下	350以下	350以下
	4分ボルト	860以下	700以下	600以下	600以下	630以下	630以下

※ボルトの吊り元に関しては、基本を埋込み式インサートとしています。施工アンカー及び金具を使用する場合は別途協議が必要となります。

※各部材の最大たわみは1/200としております。

※各仕様は仕上材をアルミスバンドレル1mmとした場合の参考例です。

吊りボルトの補強方法

吊りボルトの長さが下記の数値を超える場合は、

角パイプ (□-19×19×1.2) もしくはアングル (L-30×30×3) 等で補強が必要です。(吊り元はインサート等の固定端とします)

【吊りボルト補強の目安】

吊りボルトの太さ:3分の場合はL≤500mm、4分の場合はL≤1,000mm

【吊りボルト補強部分の長さ許容】

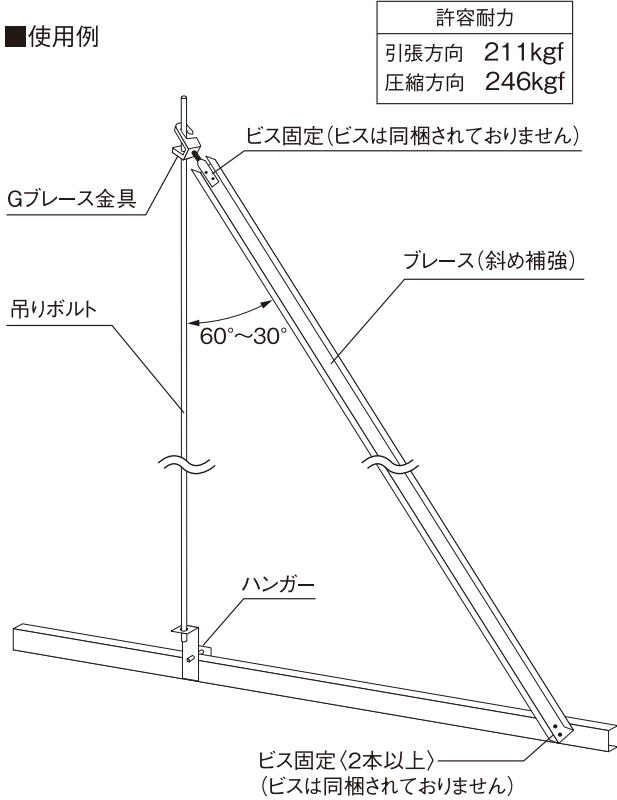
□-19×19×1.2の場合はL=1,800mm

L-30×30×3の場合はL=1,500mm

天井下地材の耐震補強

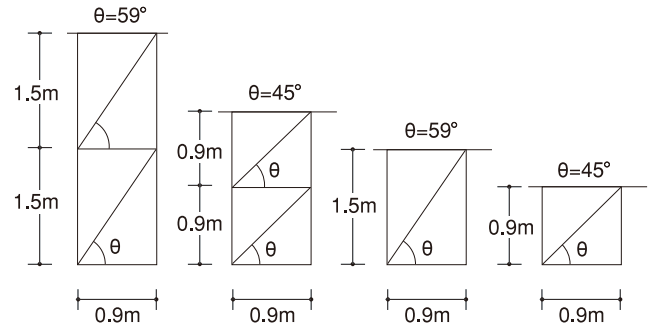
■水平補強・斜め補強

吊りボルトの長さが1.5m以上の場合は、1.5m以内に水平補強を設け、各段に斜め補強を配置する。
 斜め補強（ブレース）、水平補強の部材はC-38×12×1.2mm以上とする。
 補強材の固定方法は金物によって固定する。金物の場合は、金物の強度及び耐震性を有する金物とする。

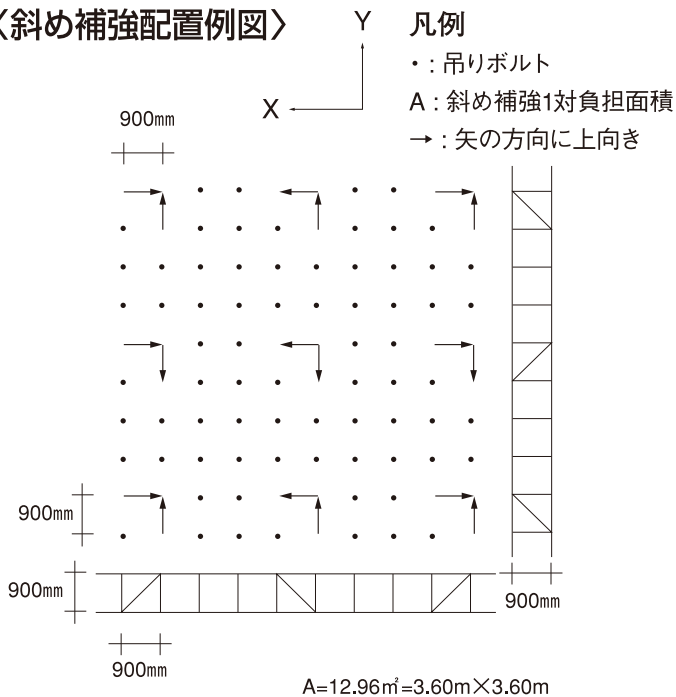


〈斜め補強・ブレースの角度〉

- 1) 斜め補強・ブレースの角度は、45度～60度の範囲に設計すること。45度が最も効果がよい。
- 2) 天井のふところの高さは、3.0m程度を限度とする。
 また、水平補強は、1.5m毎の2段とする。



〈斜め補強配置例図〉



〈斜め補強設置量 (㎡毎に1対)〉

天井重量 (kg/㎡)	斜め補強 角度	
	45度 (㎡)	60度 (㎡)
20	11.06	7.82
19	11.64	8.23
18	12.29	8.69
17	13.01	9.2
16	13.83	9.78
15	14.75	10.43
14	15.8	11.17
13	17.02	12.03
12	18.44	13.04
11	20.12	14.22

斜め補強はX方向、Y方向にそれぞれバランスよく均等に13㎡以内に1対（1組）以上設ける。